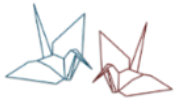


未来に向かって伸びる鶴嶺の子

# 鶴小だより 5月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校  
校長 日高 大司郎  
令和4年4月28日発行



## 今年度の学校づくりについて

本校の目標は、4月の学校だよりで書かせていただいたように、教育の目標（ミッション）「未来に向かって伸びる鶴嶺の子」、学校教育目標（ビジョン）〇自分で学び「かしこい子」〇仲間とふれあい「やさしい子」となっています。

教職員全員が、上述した目標（ミッション・ビジョン）達成に向けて、それぞれが具体的な取り組みに落とし込み仕事をしていきます。

それでは、今年度の学校づくりについて、学校経営の二つの柱と重点目標についてお伝えさせていただきます。

### ① 一人ひとりを大切に、心がかよいあう教育実践

- 子どもたち一人ひとりに、真摯に向き合っていきます。
- 子どもたちの心に寄り添うことを大切にします。
- 学級経営について、子どもたちがよりよく「つながる」ということを意識して、職員一人ひとりがどのような思いで何のために、具体的に何をどのように取り組むのか、エビデンス（根拠）を明確にして行っていくようにします。
- 子どもたちの間に起きた問題も、「つながり」を作り直すよい機会ととらえ、丁寧に対応します。

### ② みんなでかわりあい「学びあう」授業づくり

- 「つながり」を意識して、教材と子ども、子どもと先生、子どもと子どもなど、他者とつながることをキーワードとして、より「主体的、対話的で深い学び」をめざしていきます。
- 校内研究を大切にして、職員一人ひとりが自分事として、よりよい授業作りにこだわっていきます。
- 他者の授業を見る機会を設け、自分の授業を内省することを続けていきます。
- 授業作りについても、職員一人ひとりがどのような思いで何のために、具体的に何をどのように取り組むのか、エビデンス（根拠）を明確にして行っていくようにします。

昨年度も掲げていた、この二つの柱とその内容について、どの職員もしっかり理解し、無意識に実践できるレベルまで高めたいと考えています。本校の学校教育活動を、この二つの柱に沿った形で実践していくことで今年度の本校が掲げているビジョンとミッションの実現をめざします。

## 今年度の重点目標！！

- ① 「安全」「安心」できる学校づくり。
  - エビデンス（根拠）を明確にした学級経営を行っていきます。また、子どもをよりよく理解し支えていく部分と、きちんと指導していく部分のバランスに配慮しながら、学級作りに取り組んでいきます。
  - チームでの対応を常に心がけます。
  - 支援が必要なお子さんについて、学校全体で共有して教育活動を進めます。
  - 登下校時の安全意識の向上に取り組みます。
  - 学校に来られないお子さんに、丁寧にかかわって行きます。
- ② 授業改善の推進
  - エビデンス（根拠）を明確にした授業作りを行っていきます。
  - 授業内容に関して、学年で一緒に考えたり、シェアしたりできるようにしていきます。
  - 授業公開の日常化をしていきます。（様々な機会をとらえて、互いに授業を見せ合うようにしていきます。）
  - 井戸端研究を推進します。（職員室で交わされる授業作りについての話に、管理職が首を突っ込み、口を挟むようにしていきます。また、それを広められたらと考えています。）
- ③ 豊かな心の育成
  - 子どもたちにしっかりあいさつしていきます。
  - 特別な教科道徳を大切にしていきます。
  - 特別活動での子どもの主体性（学級および児童会活動）を大事にします。
  - 読書活動を推進（読書活動指導協力者との連携）し、子どもの心を耕すようにします。

## 運動会でのお願い

運動会の練習が、始まりました。当日は、是非子どもたちの頑張りを見て、認めてほしいと考えています。徒競走を実施すると、保護者のみなさんの関心は、着順にいくようです。でも、本当に大切なのは、自分の力を出し切ることです。「一生懸命・カー杯やる」ことが清々しい、気持ちのよいことだということ教えたいと思います。人と比べてどうかということや結果の善し悪しだけでしか、自分の「よさ」を捉えられない子にたくないという思いからです。そんな人生は、不幸なのではないか、生きにくいのではないかと切実に考えています。笑顔で「頑張ったね！」と言ってあげてほしいのです。